

機能性研究成果発表会 参加者募集

(公財)新潟市産業振興財団では、新潟地域農産物の利用拡大及び加工食品の競争力向上を目的として、下記農産物の加工方法や加工条件に基づく、機能性成分の変化を調査しました。

つきましては、その研究成果の発表会を開催しますので、参加者を募集します。

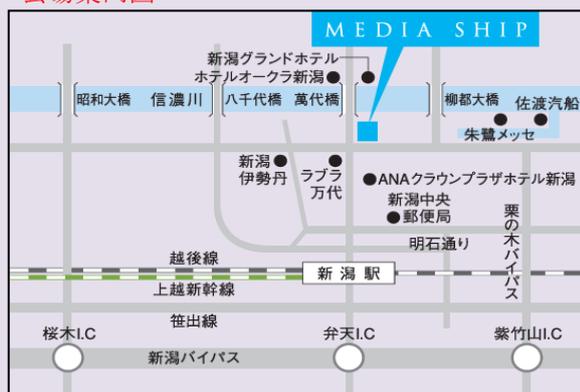
参加希望の方は、裏面の**参加申込書**にてお申し込みください。

当日お越しの際は、できる限り公共交通機関をご利用願います。お車をご利用の場合、駐車場利用料は各自ご負担ください。

開催概要

- 日時 平成26年3月13日(木)
午後1時30分開会
(午後1時から受付開始)
- 会場 **新潟日報メディアシップ**
6階ナレッジルーム

会場案内図



- 内容 下記農産物について、機能性成分の変化に関する研究成果の発表

■調査対象農産物及び発表者

調査対象農産物	発表者
新潟すいか	新潟薬科大学 応用生命科学部 佐藤 眞治教授 重松 亨教授
枝豆(茶豆を含む)	新潟大学 農学部 城 斗志夫准教授
トマト	新潟薬科大学 応用生命科学部 佐藤 眞治教授

■対象者

新潟市内の**食品製造会社**、**農業者**ほか関係者

- 参加費 **無料**
- 主催 公益財団法人新潟市産業振興財団
(通称名：新潟IPC財団)
- 協力 新潟薬科大学
国立大学法人新潟大学
- 実施機関 新潟バイオリサーチパーク(株)

発表者のご紹介

- ①新潟薬科大学 応用生命科学部
佐藤 眞治教授



メタボリック症候群の発症予防に効果を発揮する機能性食品の開発と機能評価について研究しています。

- ②新潟薬科大学 応用生命科学部
重松 亨教授



超高压技術と微生物を研究軸とし、食品の加工・保存及び発酵を主とした環境低負荷型プロセスを開発しています。

- ③新潟大学 農学部
城 斗志夫准教授



食品の「おいしさ」と、「機能性」の追求を目的に、食品の成分分析、機能性の解析、微生物制御など、幅広く研究しています。

FAX番号：0250-25-1266

新潟バイオリサーチパーク(株) 行

「新潟地域農産物の機能性研究成果発表会」

参加申込書

事業所名	
所在地	〒 新潟市
参加者氏名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

※上記記入欄にご記入のうえ、**平成26年3月6日(木)迄**に、新潟バイオリサーチパーク(株)宛て、FAXでお申し込みください。

なお、ご記入いただきました個人情報、主催者並びに新潟バイオリサーチパーク(株)が参加確認、参加者への連絡、今後の事業のご案内等の情報提供のみに利用します。

【お問い合わせ先】

新潟バイオリサーチパーク(株) 担当：後藤、武蔵谷

TEL 0250-25-1196 FAX 0250-25-1266

公益財団法人新潟市産業振興財団

ニューフードバレー推進チーム 担当：成田

TEL 025-226-1641 FAX 025-224-4347